建設業

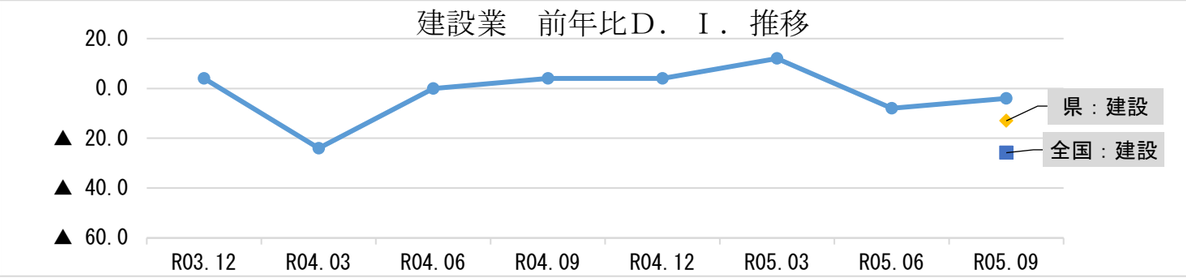
回答率：100%（25/25）

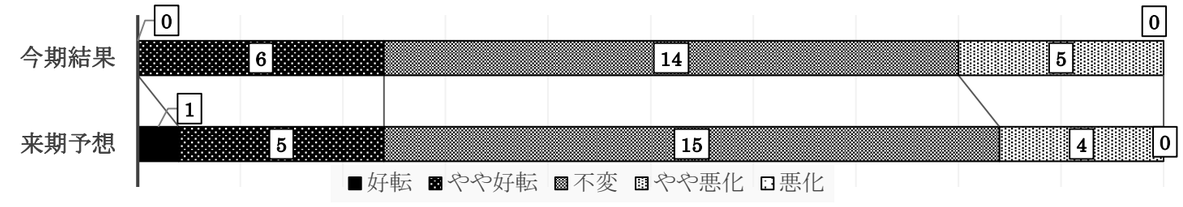
良い　やや良い　普通　少し悪い　やや悪い　悪い

今期　見通し

■丹波市の景況推移

建築業は、資材高騰の影響が大きく、新築の受注件数が減少傾向にある。丹波市への移住者が増えた影響もあり、リフォームの受注が増えている。木材の価格が多少落ち着いてきたが、他の資材関係の値上がりが今後も続くと思われる。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

建築業は、資材高騰の影響が大きく、新築の受注件数が減少傾向にある。やはりこれだけ住宅価格が上がるとローンを組めない人も出てきているのではと推測される。丹波市への移住者が増えた影響もあり、リフォームの受注が増えている。

【丹波市の来期の景況予想】

建築業は、木材の価格が多少落ち着いてきたが、他の資材関係の値上がりが今後も続くと思われる。メーカーからの値上げの連絡がまだまだ続いており、落ち着く気配がない。材料高騰の影響で、利益圧迫の状況である。

■全国の景気動向

建設業は、採算・資金繰りが大幅に改善した一方で、売上額・業況が小幅に悪化している。人手不足から高齢で退職した社員を再雇用する事業者もある。資材の高騰により新築の受注が減少している。まだまだ業況回復への道のりは遠いと思われる。

■県下の景気動向

新築がかつてないほど少なくなっている。資材が高騰しているのも消費者が分かっていて控えていると思われる。また、人手不足が深刻となっている。鉄骨建築関連では、鉄骨価格の高騰により、建築価格が上昇している事で企業の設備投資意欲も低調である。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	2	1	1	1	1	7	28.0%
不変	1	6	0	1	1	1	10	40.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	4	0	2	1	0	8	32.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

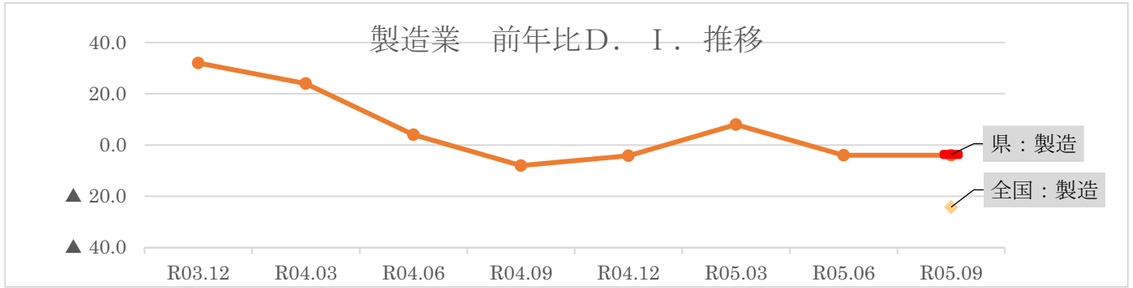
回答率：100%（25/25）

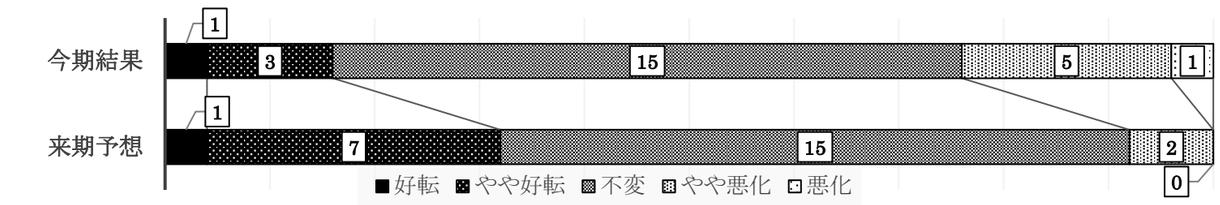
２０２３年７月～９月期調査

今期　見通し

■丹波市の景況推移

景況感は回復傾向にあるが、原材料の高騰や経費の上昇が続いており、また、賃金引上げも継続する。そのための対策として、如何に設備投資やITツールの活用を行い、生産性を向上させるかが鍵となる。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

原材料の高騰や経費の上昇分で業況が悪化している。但し、積算根拠を示して交渉をしている企業は単価アップに応えており、生産管理の強化や品質向上を図ることで継続的な取引拡大に繋げている事業所も見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

円安が今後も継続することが見込まれ、当面の間は原材料の高騰や経費の上昇が続くと予想される。また、人材不足も継続しており、生産性の向上として設備投資やIT ツールの活用などを積極的に行う事業所が増えると予想される。また、省エネ設備の導入も併せて行う傾向が見られる。

■全国の景気動向

食料品関連は猛暑や円安の影響により原材料の高騰している。また、鉄鋼・非鉄・鉱業関連も円安の影響を受け、業況が悪化している。一方で半導体不足の緩和から電気機械製造業や自動車関連業は稼働率が向上し、円安の効果も後押しして業績が回復傾向にある。ただ、中国経済の減速などもあり、先行きが不透明な点も見受けられる。

■県下の景気動向

大企業製造業の景況感は堅調である一方、小規模事業者の景況感は力強さに欠け、先行きに対する不透明感が依然と強い。中小企業では、経営上の課題として原材料高、同業他社との競争激化、人手不足についての項目が高く、重点施策として経費の削減や生産性の向上等の取組みを実施している企業が多く見受けられる。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	0	4	1	1	1	1	8	32.0%
不変	1	2	2	2	0	1	8	32.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	3	2	0	2	1	9	36.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

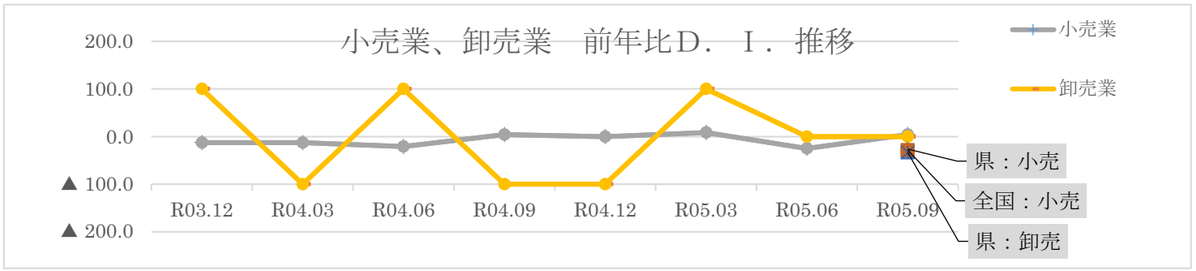
回答率：96%（24/25）

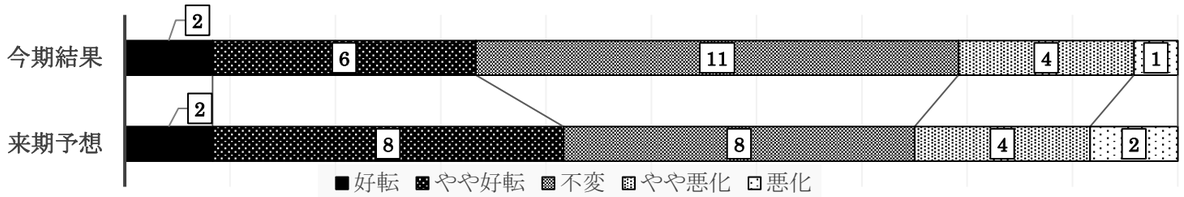
良い　やや良い　普通　少し悪い　やや悪い　悪い

今期　見通し

■丹波市の景況推移

人の動きが出始めてはいるものの、酷暑の影響や、仕入れ価格、経費の高騰により、利幅が減少傾向にある。度重なる仕入れ価格の高騰で、販売価格改定が困難なところもある。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

衣料品関連は、人の動きが出始めたが、残暑の影響により秋物が伸びず、薄物が主流となり客単価は昨年対比で減少傾向のところもある。食料品関連は、仕入れ価格、経費の高騰による売上価格への転嫁が出来ておらず利益を圧迫している。自動車販売は半導体不足が徐々に解消されてきており、新車の納期遅れは解消されてきた。

【丹波市の来期の景況予想】

秋の行楽シーズンに向けコロナ前のイベントが再開されるようになり、需要が戻ってきている。従来の受注が見込めているため、今後は期待できそうである。

■全国の景気動向

衣料品関連は、残暑が長引いたため、秋物衣料の動きが悪いといった声が聞かれた。食料品関連は、酷暑により野菜の日焼け等が生じ、商品の入荷に影響があった。耐久消費財関連は、電化製品の買い控えが起きており、売上額・資金繰り・業況が小幅に悪化した。

■県下の景気動向

小売業全般で仕入原価が上昇しているものの、売上はあまり上がっていないため採算が厳しい状況にある。また、特に農産品は原油高騰の影響だけでなく、猛暑の影響もあり大幅に仕入単価が上がっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	3	2	0	0	0	1	6	25.0%
不変	2	5	0	3	2	1	13	54.2%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	2	0	1	1	0	5	20.8%
合計	6	9	0	4	3	2	24	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

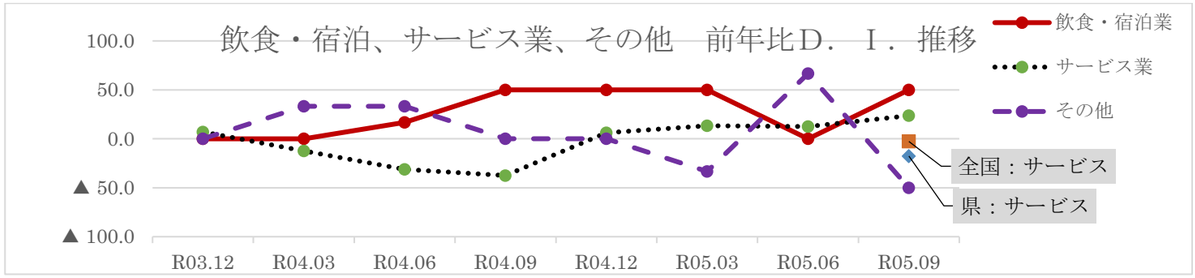
回答率：100%（25/25）

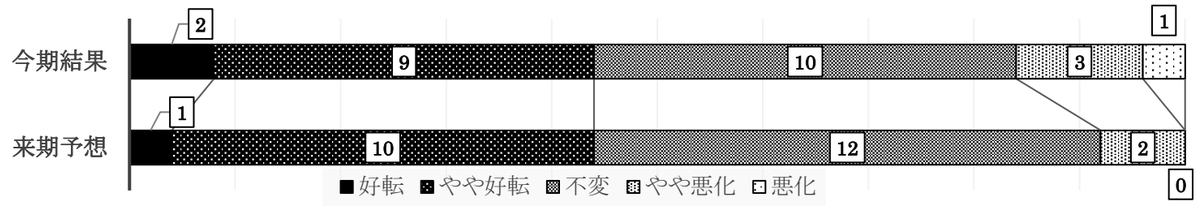
２０２３年７月～９月期調査

今期　見通し

■丹波市の景況推移

飲食業ではコロナ前より売上は大きく減少している。サービス業全体で材料・燃料高騰など厳しい状況が続いている。観光業は忙しくされており、また祭事の増加で仕出し等も増加している。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

飲食業ではコロナ前より売上は大きく減少している。サービス業全体で材料・燃料高騰など厳しい状況が続いている。飲食業では、材料高騰のため、提供する料理の量をこれまでより少なくするなどしているが、それも限界にきている状況である。一方で観光業は忙しくされており、また祭事の増加で仕出し等も増加している。

【丹波市の来期の景況予想】

物価高騰と並行して、人材不足は顕著で、一部の業種を中心に外国人労働者の雇用が増えているが、サービス業においても選択肢の一つになっていくと思われる。

また、一方でコロナ禍以降、市内のサービス業における起業者は増加しており、カフェやエステ、美容室、カウンセリング等、女性にとっての働き方の一つとして、起業という選択肢が増えつつある。

■全国の景気動向

インバウンド需要の高まりに比例するように、旅館宿泊の利用率は大きく増加している一方で、消費者のコスト面の負担増加による買い控えもあって、旅行宿泊以外は停滞気味であり、景気全体としては、下落傾向が続いている。

■県下の景気動向

県内の飲食・宿泊・サービス業も、丹波市と同様に材料価格の上昇や人手不足への対応に課題を抱えている。そのため、来店客数、売上ともに伸びている事業者でも、利益自体は横ばいというところもあり、今後の営業に不安を抱える事業者も多いと推測される。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	4	1	3	1	0	10	40.0%
不変	3	3	2	1	1	1	11	44.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	1	1	0	1	0	4	16.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%